

あたたかい
心のひかる
福祉のまちづくり

岡山市連合婦人会会報

平成26年2月5日
編集兼発行人
岡山市連合婦人会
塩見 槇子
岡山市中区小橋町 一三〇
電話 二七二七八八六
印刷所
岡山市北区表町一四〇
(株)内外総合通信社

和やかに新年互礼会 歌や仮装で会場盛り上げ



多数の来賓をお迎えして盛大に開催された新年互礼会(ピュアリティまきび)

平成二十六年一月十日(金)、ピュアリティまきびで、各地区・学区の役員百二十七人が参加して一月の全員評議員会が行われました。その後、午前十一時半から恒例の岡山市連合婦人会新年互礼会が、大森市長をはじめ、市関係者、国会議員、市議会議員など多数の来賓をお迎えして盛大に開催されました。

塩見会長 新年挨拶

明けましておめでとう
ございます。評議員の皆様には、早朝からの全員評議員会に続きましての新年互礼会、長時間になりますけれどもよろしくお願いたします。

また、本日は公務が多忙のところ、大森市長様、則武市議会議長様、山脇教育長様をはじめ、国会

初めに塩見槇子会長が年頭の挨拶をされました。大森市長からは「今年には岡山でESDの世界会議があります。おもてなし等で婦人会の皆様の方の力をお借りし日本中、世界中へ岡山市を発信していきましょう」とお言葉を頂きました。つづいて、山脇市教育長から「婦人会の方々から子どもの心を育てる、子ども達を育てる場所で活動、お力添えをして頂きありがとうございます」とお言葉を頂きました。目黒連合町内会長、則武市議会議長からも温かいご祝辞を頂きました。

第二部は参加者による歌の披露に入りました。来賓の方達のデュエットや各テーブルから代表で熱唱、また合唱で楽しませ、途中、

おもてなしの心込め あいさつ運動10年目



9月2日、JR金川駅であいさつ運動を実施した御津学区の婦人会員ら

来賓の皆様方が神主、七福神の衣装をまとい、市の男性職員が、



振り袖姿で登場、神主様を先頭にお祝いとおいでのなる方々に笑顔で「おもてなし」。特に学生さんによるおもてなしを、という思いから標語を集め、しおりにして学生対象に早くも届かれています。青少年非行防止・交通安全・悪質商法撲滅などのピラ配りも同時にしました。



9月2日、JR大元駅であいさつ運動を実施した大元学区婦人会

市民参画の町づくり 伊勢市の取り組み

市民参画の町づくり
伊勢市の取り組み
加ます伊勢市役所で、大西要一行政経営課長が「新生お伊勢さん活力あふれるまち」の三本柱とし、七つの分野ごとに具体的に取り組んでいる様子をパワーポイントで説明されました。この中で、婦人会がボランティアとして、どのようにかかわり活動しているのかを写真で見せていただき、「一人一人が力を出し、目標に向かって活動を進めよう」という意気込みが感じられました。

笑顔で「飛躍の年」に

近、景気動向は向上と
いわれていますが、諸物
価の値上がりで、我々に
は、今景気浮揚が感じら
れないとおっしゃる会員



長にわかり大森市長が誕
生いたしました。政令指
定都市岡山のさらなる発
展に向けて日夜奮闘さ
れていると伺っており、

とご協力をいただきまし
て事業も順調に進進して
参りました。今年には岡山
でESD世界大会がある

で、連合婦人会といまし
ても全力投球でおも
てなしをしようと考えて
おります。さらに会員の皆様には
指定都市・岡山の発展の一翼を担い、地域の活性化に向けて飛躍できるよう努力して参る所存です。

区・地区の
皆さんの笑
顔をもっと
もっと増や
していただきたいと思っ
ています。今年「飛躍
招福の年」です。行政
や各種団体の方々より
一層の連携を図り、政令

平成二十六年一月十日
岡山市連合婦人会
会長 塩見 槇子



写真パネルを見る婦人会員(伊勢市役所)

継ぐこの地球」の世界大会が岡山市で開催されます。多くの外国の方々が来岡されます。どこで出会うかも笑顔で気持ちよくお迎え出来るよう、生活の基本としての「あいさつ運動」を今後も続けたいと思います。

また、伊勢市女性団体連絡協議会の写真パネル展示では▽笑顔いっぱい▽地域の人の活動で防犯学習・婦人交流・街頭募金など▽明るく楽しく踊る▽伊勢音頭で交流・おもてなし・市民芸能祭など各地区婦人会踊り▽いきいき輝く、女性をめぐりながら▽花いっぱい▽作りなど▽花いっぱい▽地域・学校と共に環境・花壇・整備など各分野での活動が細かく拝見できました。

二日目は好天に恵まれ、紅葉の美しい伊勢市を視察。式年遷宮を終えた伊勢神宮を参拝した後、江戸から明治期にかけての伊勢路の建築物が移転・再現された「おかげ横丁」を散策しました。



標語が書かれたしおり

約2000人の高齢者の方々が集い開催された岡山市合同敬老会（岡山ドーム）



2000人の長寿祝福

高齢者熱演に元気もらおう

市合同敬老会

爽やかな秋晴れの平成二十五年十月十七日（木）、市内三十二学区から約二千人の高齢者の方々が集い、岡山ドームにて第六十四回岡山市合同敬老会が開催されました。

午前十時三十分からの開会式で、大森雅夫市長が「高齢者の方々が安全で安心して住み慣れた地域で暮らしていただける町づくりを推進していきます。今後とも地域づくりに協力をお願いします」とあいさつされました。続いて高齢者代表、高齢者夫妻代表に記念品が贈呈されました。

式典後は婦人有志や幼稚園児などが、賑やかに楽しい踊りや歌を披露して会場を盛り上げた。高年齢者有志による出し物で、演歌や踊り、詩吟等々に披露され、年齢を感じさせない皆さんの若々しい演技と熱演に、私たちが元気をもらいました。最後は有志による歌や踊りで、合同敬老会に参加された歌にあわせて大黒様に扮した市職員や婦人会員が参加者全員に「福船」を配り、賑やかな総踊りで締めくくりました。来年も皆さんお元気でおいしませよう。



大黒様に扮した市職員や婦人会員が「福船」をお年寄りに配ったフィナーレ（岡山ドーム）

文化活動の成果発揮

地方色豊かな民踊など披露

婦人文化祭

平成二十五年十月十二日、岡山市立市民文化ホールで、第三十八回婦人文化祭が開催されました。

開会式では、塩見榎子会長の「日頃の文化活動の成果を存分に発揮してもらいたい」との挨拶に続いて、市長の大森雅夫氏が「女性の力に期待するところが多い。今後とも頑張ってもらいたい」と挨拶されました。

十四団体、百二十人の出演者でした。出演者たちは、日頃公民館などで練習を重ねており、この文化祭はその成果を披露するともに、会員相互の交流・親睦を深める場となっ



華やかな総踊り（岡山市立市民文化ホール）

その数と衣装でステージを魅了したのは、御津地区婦人会のフラダンスでした。チーム名は「スマイルみつ」。

その数と衣装でステージを魅了したのは、御津地区婦人会のフラダンスでした。チーム名は「スマイルみつ」。楽しんで笑顔で踊る姿に、会場から温かい

地区で他団体と協力して実施されています。色々工夫して実施されています。

世界会議プレイベント・地球市民会議に参加して

岡山コンベンションセンターで平成二十五年十月十八日に「ESD（持続可能な開発のための教育）の10年・地球市民会議2013」が開催されました。岡山で「ESD」に関する世界会議が二〇一四年秋に開かれるのを前にしたプレイベントでした。

ESD支える人材を

元国連大学学長とESD先進国ドイツの大学教授の基調講演では教育を通じて自己啓発し行動していくことが大切だと思われました。

調提案をもとにワーキンググループをし、まとめをしました。必要なこと、取り組むべきことは何かを考るための教育が必要だと感じました。

岡山は晴れの国だからソーラーパネルにしてはどうか、何といても地元企業を知る、育てる、買うようにする事が大切だ。ESDは公民館をハブにして活動方針の柱にする。共にNPQセンターとの連携も考えていきたいと思えます。

西大寺をハイキング

緑花公園～クリーンセンター

希望者には寄せ植え体験

毎年楽しみにしている緑のハイキングが岡山市連合婦人会、岡山市公園協会、岡山市の主催で、平成二十五年十月二日に開催されました。西大寺緑花公園百花



元氣よく歩く参加者ら（新永安橋）

プラザに午前十時ごろ集合、東部クリーンセンターに向けて出発しました。全長五・八キロのハイキングコースで、寄せ植えをとお土産に、皆さん元気で帰途につきました。



緑のハイキングの参加者（岡山市東部クリーンセンター）

運動不足のせいで足元はフラフラ。やっと百花プラザに着くと、地元の婦人会員さんの温かいおもてなしのおかげで疲れも一気にとれました。その後自由参加の秋の寄せ植えをしました。寄せ植えも想像以上に楽しく、また植える方、土、今まで知らなかった事を教えていただきました。秋晴れの素晴らしい日、楽しく充実した一日でした。あらためて日々の運動の大切さを実感いたしました。（足守学区・池田恵美子）

石油への関心高めて

エネルギー問題考える

員会 評議 員全
演 講

平成二十五年十一月十一日、連合婦人会全
員評議員会の後、中央公民館で講演会があり
ました。演題「私たちの暮らしと石油」、講
師は石油連盟広報グループ長の橋爪吉博氏で
した。



主婦連合会から「石油に関する消費者の意識調査」の報告発表も行われた（岡山市立中央公民館）

災害時の利用に適した燃料

はじめに、東日本大震災で被災した福島県の小学生の作文で「おばあちゃんが、ストーブの上に鍋をのせ、みそ汁を作り始めました。余震が続く中、私たちは、ストーブを囲んで温かいみそ汁とおにぎりの食事をしました。ストーブのあたたかい赤い光は、私たちの不安な心をほぐしてくれました。この時ほど石油エネルギーのありがたさを強く感じました。

事はありませんでした。この文を紹介され、今まで感じた事のなかった、石油の力をあらためて気づかされた瞬間でした。

有意義な老後目指し

「幸せの人生設計」学ぶ

消費者大学

平成二十五年十一月十九日と二十八日の二日間、ピュアリティまきびに於いて、健康・生きがい開発財団のアドバイザーであり、一級ファイナンシャルプランナーでもある森谷和信氏をお迎えし、「これから楽しく生き抜くプラン」をテーマに「平成二十五年消費者大学」が開催された。

莫大な自由時間の過ごし方

高齢化が如実に進み、定年退職後、あるいは一線を退いてからの時間が長くなるにつれ、その長い時間をいかに有意義に過ごすかがこれからの時代に求められている。

今回の消費者大学は、そういう意味でも非常に興味深い内容であり、また色々考えさせられる内容であった。

この消費者大学で使われたテキストにその答えが載っている。六十歳で自由時間を得たとして、男性も女性もなんと八万時間を過ごさねばならないのである。これは二十歳から六十歳まで働いた時間とほぼ同等の時間だ。無為な時間が後の人生に役立つのは青年期だけであり、私たちにそんな余裕は残されていない。だとすれば、その莫大な自由時間をどう過ごすかで、人生は大きく変わってくる。



「これから楽しく生き抜くプラン」をテーマに開催された消費者大学（ピュアリティまきび）

要素は「生きがい」「健康」「家庭経済設計」である。森谷氏は説く。いくら元気があっても趣味やボランティア等の生きがいがないとつまらない。あるいは生きがいがあったとしても経済的に生活が成り立たなければそれは意味をなさない。その三つのうち、どの要素が欠けても「幸せのライフプラン」は成り立たないのである。

森谷氏の講義は、そういう意味での確かな問題提示と解決策が示され、非常に有意義な勉強をさせていただいたと思う。

■普通預金Ⅱ生活費、病気やケガの治療費、病後ケアの費用、紺野和子

消費者被害撲滅キャンペーン

ストップ！悪質商法

市消協が啓発活動



来場者に悪質商法関連啓発用リーフレットなどを手渡す岡山市消費生活研究協議会のメンバーら（岡山ジョイポリス広場）

平成二十五年十一月十六日（土）午前十時～午後三時、恒例の消費者生活展が岡山ジョイポリス広場（イトーヨーカドー北広場）で実施された。

費用生活展が岡山ジョイポリス広場（イトーヨーカドー北広場）で実施された。消費者生活展が岡山ジョイポリス広場（イトーヨーカドー北広場）で実施された。

生活安全課主催事業としての「計量の広場」と共催でした。

般消費者千人▽回答者
九百五十五人。

岡山市連合婦人会員
もこの意識調査に参加
しました。



消費者被害撲滅キャンペーンで啓発活動を行う岡山市消費生活研究協議会のメンバー（岡山ジョイポリス広場）

